

広報

なとり

2017

6

No.1023



特集

中学生海外派遣事業 座談会 私たちのカナダ滞在記





私たちのカナダ滞在記

～出会ったのは新しい友人と新しい自分～



座談会に参加していただいた団員の皆さん ※()内は中学校名

上段左から 沼田一輝さん(第二)、後藤元太さん(みどり台)、渡邊彩加さん(増田)、赤坂奈瑠さん(第一)、千葉綾音さん(第二)
下段左から 島貴加奈子さん(増田)、大内彩葉さん(増田)、植木菜月さん(第一)、古橋すみれさん(第一)

中学生海外派遣事業

「次世代を担う青少年を海外に派遣し、国際感覚の豊かな人材を育成すること」を目的に、名取市国際交流実行委員会では中学2年生を毎年3月に、カナダ・オーストラリアに派遣しています。また、交流先の中学校の生徒も名取市を訪問し、市内のご家庭でホームステイをしながら交流を深めています。

3月28日から4月7日

までの11日間、市内の中学2年生22人が、カナダ国ブリティッシュコロンビア州にあるスーク市を訪問しました。

市の代表として派遣された生徒。5泊6日のホームステイやスーク市長訪問、現地学校の授業を受けたほかバンクーバー、ビクトリアの視察を実施。日々驚きに満ちた貴重な経験をする事ができました。

今回はそのうちの9人の派遣団員が集まってもらい、座談会を開催しました。

ー参加しようと思ったきっかけを教えてください。

古橋さん 昨年9月に市の受け入れ事業でオーストラリアのホストファミリーをしたときに、海外に興味を持ちました。その後、父からの後押しもあり、今は行って良かったと思います。

赤坂さん お兄ちゃんが2年前に同じカナダに派遣に行って、最初は興味もなかったけど、話を聞くうちに、興味を持ち始めて応募しました。

沼田さん 最初は親に勧められたのがきっかけ。今は行ってよかったと思う。

渡邊さん (海外に)行ったらどうなるのかなという思いがあった。あと、英語が話せたらいいなと

思っていたので。

ー現地で気がついた日本との違いはありますか。

植木さん カナダの子どもたちは政治に詳しいよね。

大内さん 私もホストスチューデントに、トランプ大統領知っている?と聞かれた。

千葉さん 学校では、みんな私服だった。髪を染めている子やピアスを空けている子もいた。

後藤さん 授業中、みんなスマホを開いて、分からないことは調べていた。

古橋さん カナダはお風呂とトイレが一緒だった。

赤坂さん (カナダの人は)大雑把なところもあるけど、日本人と同じようにとても気を遣ってくれる。

初めてふれる文化と異なる価値観

—他にも何か違いはありましたか。

大内さん とても自由。

みんなのびのびしている。

植木さん カナダの学校は部活がなかった。

千葉さん あと掃除もしない。日本で学校にいる時間を教えたら(長くて)驚かれた。

日本の中学生は部活、塾と多忙。そこが驚かれることも多いようです。

—日本のいいところを教えてください。

島貫さん 部活があるところが日本のいいところだよ。

沼田さん 自動販売機がたくさんある。

後藤さん そうそう。空港には、1箇所だったよね。

あってもお菓子ばかりだった。

千葉さん 車の運転は日本の高速道路の方が安全だと思った。

—ホームステイで楽しかったことは。

植木さん ※ジップライン。1キロの距離があった。

※木と木の間に張られたワイヤーロープを、滑車を使って滑り降りる遊び

古橋さん 森の中に川があって、その間を木に乗って、ロープで伝いながら渡った。

スークは自然に囲まれていて、庭に鹿がやってきたり、海岸でアシカを見ることができたり。住んでいる人も自然とふれあって楽しんでいるようでした。

—気候の違いはありましたか。

大内さん 日本は朝、夜寒くて日中暖かい。カナダは一日を通して同じ気温で聞いた。

あと滞在中、あまり晴れていないときがなかったよね。ずっと曇りって感じだった。
島貫さん バンクーバーは毎日雨だった。



地域によっても気候は異なりますが、今回滞在したスークなどの太平洋沿岸地域は秋から春にかけて雨が多そうです。

—街並みはどうでしたか。

島貫さん ビクトリアの港がすごくきれいだったね。

植木さん どこを写真に撮ってもきれいだった。

大内さん 道路の幅が広くてゆったり歩けた。日本では人をよけながら歩かないといけないけど(笑)

—英語は通じましたか。

古橋さん だんだん通じてきたかな。

植木さん 単語とジェスチャーで。

島貫さん 伝える以前に、言っていることが分からないときがあった。聞き取れなかったり、単語が分からなかったり。

—分からないときは、どのようにコミュニケーション取りましたか。

大内さん 電子辞書がすご

く役立った。打ってもらっただけで単語が分かるし、日本語の意味を聞かれたときも、和英で調べられた。

植木さん 日本語教えてってよく言われたね。

島貫さん 私は、どうしても「water(水)」が伝わらなくて、それが一番困りました。発音が違って。後藤さん 僕は、分からないときは紙に書いてもらっただけで、筆記体みたいな字で読めなかった。

—今回の経験を今後どのようにつなげますか。

後藤さん とりあえず3月の受け入れかな。(3月にスークの生徒たちが名取市でホームステイをする)

大内さん 英語をちゃんと勉強して、もう1回カナダに会いに行きたい。

植木さん 手紙を最後に渡しました。「今度会うときは、もっと英語が上手になるから、それまで待って」って書いたから、ちゃんと勉強したい。また会いたいし、またカナダに行きたい。これからも交流を続けたい。



1. スークの訪問先校の授業風景。テーブルを囲み数人ずつ座っている。
2. 「フレンチビーチ」での交流。海の向こうにはアメリカがある。
3. 創業1908年、ビクトリアの象徴として知られる「ホテル・エンプレス」。
4. ガーデンシティとも呼ばれるビクトリア。英国の影響が残る街並みには花が溢れている。
5. 校長先生の自宅の牧場で。餌を口に加えて食べさせているカナダの生徒。

感じる成長が 自信へとつながる

—最後に。カナダに行つて何か変わりましたか。

古橋さん カナダに行つてから、人前に出ることが楽になった。

渡邊さん 英会話の先生に、「ちゃんと目を見て話すようになったね」って言われた。前は顔を合わせることに苦手だったんだけど、カナダに行つてから目を見て話せるようになった。

島貫さん 私もお母さんから「猫背直ったね」って言われた(笑)。

大内さん 学校の先生に、「カナダに行つてから明るくなって生き生きしてる」って言われた。

植木さん 私もそれ言われた。

大内さん それに度胸がついた気がする。

古橋さん うん、苦手な人とも話してみる気になったり。

後藤さん この間修学旅行で東京に行ったんだけど、外国の人が歩いてるのを見て、話しかけたくなくなった。
赤坂さん 修学旅行で、

『キッザニア東京』に行つたら『イングリッシュユデー(全部英語で行う職業体験)』だったんですよ。でも、カナダのときよりも英語が分かりやすく感じて。

植木さん キャビンアテンダントの体験をして、全部英語だったんですけど、スタッフの人に「英語の発音いいね」って言われました。
千葉さん イントネーションとか、アクセントとかが前より分かるようになった。

日本語的な英語から少し進歩したと思う。

大内さん あと、カナダに行つてから友達が増えた。カナダの友達もちろんでしたが、派遣団のメンバーとも仲良くなった。学校でも、気軽に話せるようになって。

古橋さん いいところ見つけるようになったかな。楽しくしようとか。

大内さん 考え方が柔軟になったし社交的になったと思う。とりあえず、意思を表示しようって思うようになった。

異文化にふれ、さまざまな価値観があることを知り、そしてお互いの文化の良いところ、どこに気付くことができたら今回の派遣。英語力はもちろん、何かが大きく変わるきっかけになったのかも感じません。自らの成長を感じ、自信にもつながったようです。この経験が今後の人生で、さらに大きな糧になってくれることを願います。

国際交流ボランティアを募集しています

名取市国際交流事業協力者登録制度

登録者の皆さんが国際交流事業に参加し、市民レベルの国際交流を深めることを目的としたボランティアの登録制度です。

ホームステイのホストファミリーや通訳などを通して、国際交流をしてみませんか。

登録は随時受け付けています。詳しくはお問い合わせください。

問 総務課広報広聴係 ☎724-7143